

2007年6月、the International Society for Scientometrics and Informetrics(ISSI)の国際会議がマドリッドで開かれ、欧州科学財団による、欧州における人文科学分野の文献検索データベース European Reference Index for the Humanities(ERIH)が紹介された。ERIH計画は、欧州科学財団と欧州委員会が協同する「欧州研究圏における人文科学」企画の一環で、専門分野や言語の境界を越えて、人文科学分野の出版物に関する情報を得る手段を提供するものである。世界各地で出版される国際的にトップ・レベルと見なされる雑誌を、質と引用度に応じA、Bに類別し、欧州内のみで出版されるが重要性が高く国際的に引用される可能性がある雑誌をC類とし、C類の雑誌も国際誌と同様の文脈で扱う事を特色としている。人文科学の15分野について、各々、雑誌選定結果の公表が始まっており、2007年末を目途に完了する。現在は約4000種の雑誌が評価されているが、更に増誌・拡大する予定であり、次の段階では、編者や出版社と協力し、出版物の質の管理を行うことを目指している。

トピックス 7 欧州で進む人文科学分野の文献データベース構築

欧州における人文科学分野の文献検索データベース European Reference Index for the Humanities (ERIH)計画は、欧州科学財団と欧州委員会の協同する「欧州研究圏における人文科学」企画の一環として推進されている。人文科学分野の著作は、他の科学分野に比べて、使用言語への依存性が高く、発表媒体も多様である（専門誌上の論文・書籍・講演録・選書・デジタル媒体など）。又、データが更新されるのではなく再解釈される事が多いため、データの管理運営期間が長いという特徴がある。

ERIH計画の趣旨は、専門分野や言語の境界を越えて、人文科学分野の出版物に関する情報を得る手段を提供することである。まず、トップ・レベルとみなされる雑誌の分類概念（A、B、C）を定め、専門委員会の厳選によって各分類に該当する個別雑誌を選定し、公表を開始した。欧州に特徴的な点として、専門委員は地理的な偏りが無いよう留意して選出されている。

雑誌の分類のうちA及びB類は、世界各地で出版される国際誌が対象となる。主要な言語は英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語であるが、他の欧州言語をはじめ世界の他地域の言語も対象となり得る。A類は、多数国で購読され、分野内の研究者の評価が極めて高く、世界中で引用されるものとしている。これが全体の10～25%をしめる事が期待されている。B類も、複数国で出版され、他国の研究者の中でも評価の高いものとしている。

C類は、言語によって特定されるような地域・地方内での重要性が高く、主に地元で読まれるが、出版国以外で引用される可能性もあるものである。ただし、欧州（ここでは、欧州科学財団の加盟国）からの出版物のみが該当する。ERIH計画の特色として、C類に該当するような雑誌を国際的な文脈

で取り扱う事が挙げられている。

現在、人文科学を15分野に分類し、すでに11分野の雑誌選考の結果が公開されており、2007年末までに残る4分野の公表が予定されている。

発表済：人類学、ジェンダー研究、科学の歴史・哲学、言語学、音楽学、哲学、宗教学・神学、考古学、古典、歴史、教授・教育学
未発表：芸術・芸術史、文学、東洋・アフリカ研究、心理学

今後、メディア学や倫理学などを追加する事も検討されている。現在約4000種の雑誌について作業が進んでおり、今後も増誌し、更に、書籍や、伝統的形式以外の出版物にも拡大する予定である。編纂刊行物や特集刊行物についても検討している。次の段階として、雑誌の編者や出版社と協力して、雑誌の質の管理を促進する事を目指している。

2007年6月25～27日マドリッドで開催されたthe International Society for Scientometrics and Informetrics(ISSI)の第11回国際会議にて、欧州科学財団のRüdiger Klein氏が上記計画について紹介した。ISSIの聴衆からは、人文科学系の著作を出典媒体の格や引用頻度で評価することになる可能性が危ぶまれた。欧州科学財団側は、ERIHの情報が人文科学系の著作の流布を促進する基盤構造となり、ヴァーチャル学習環境(VLE)などを活性化する可能性なども示唆している。

日本でも国立情報学研究所(NII)・国立国会図書館・JSTのJ-STAGE等で、人文社会科学系の日本語論文データ・ベース構築が着手されているが、更なる質・規模の向上が期待されている。

参 考

- 1) ERIH: <http://www.esf.org/research-areas/humanities/activities/research-infrastructures.html>
- 2) ISSI: <http://issi2007.cindoc.csic.es/program.html>